

各事業の委員会総合評価について

1. 令和7年度評価事業一覧

No.	まちづくりの 基本方針	事業名	担当課	1次評価 (達成度評価)	2次評価 (委員会総合評価)
1	人・未来を育むまちづくり	児童館管理運営経費 (指定管理)	こども家庭課	B	B
2	魅力あふれるまちづくり	地場産品ブラッシュアップ事業	シティプロモーション課	A	B
3	魅力あふれるまちづくり	市制70周年記念事業	企画政策課	A	A
4	魅力あふれるまちづくり	域学連携推進事業	シティプロモーション課	B	B
5	魅力あふれるまちづくり	お試し移住体験事業	シティプロモーション課	A	B
6	生涯活躍のまちづくり	小児インフルエンザ 予防接種費用助成事業	健康づくり課	B	B
7	活みなぎるまちづくり	農産物等直売所管理 経費(指定管理)	農林課	A	B
8	活みなぎるまちづくり	観光コンテンツ造成 事業	商工観光課	A	B
9	活みなぎるまちづくり	東濃圏広域観光PR 事業	商工観光課	A	B
10	持続可能なまちづくり	広域バス路線運行維持補助事業	商工観光課	B	C
11	持続可能なまちづくり	防犯活動推進経費	危機管理課	B	B

2. 1次評価、2次評価 評価基準

① 1次評価

A…目標値を達成	B…目標値の7割以上達成	C…目標値の5割以上達成
D…目標値の3割以上達成	E…目標値の3割未満の達成	

② 2次評価

(1) 項目別評価

評価項目	A(25点)	B(20点)	C(15点)	D(10点)	E(5点)
達成度	目標を大きく上回る成果があり、高く評価できる。	おおむね目標を達成し、一定の成果が確認できる。	一部の目標は達成したが、成果にはバラつきがある。	成果が乏しく、目標が達成できていない。	成果が見られず、事業の目的が果たされていない。
効率性	実施方法に無駄がなく、段取りや手順が非常に工夫されている。	全体としてよく考えられており、概ね効率的に実施されている。	一定の工夫は見られるが、非効率な部分も一部残っている。	実施の段取りや手法に無理・無駄があり、再検討の余地がある。	非効率で場当たり的な実施に見える。方法の見直しが強く求められる。
必要性	高い市民ニーズがあり、今後も不可欠な事業。	一定のニーズがあり、当面は継続の必要性がある。	限定的なニーズだが、部分的に必要性が認められる。	必要性が薄れており、見直し・休止の検討が必要。	必要性が見られず、廃止が妥当と考えられる。
明瞭性	誰にでも分かりやすく、説明も優れている。	説明内容は概ね明瞭で、市民の理解が得やすい。	一部分かりにくい点があるが、理解可能な範囲。	内容や目的が不明瞭で、市民に伝わりにくい。	非常に分かりにくく、市民への説明責任を果たしていない。

(2) 個人総合評価

総合得点	評価	評価内容
100～90点	A	非常に優れており、他事業の模範となる水準
89～75点	B	十分な成果と必要性があり、継続が妥当
74～60点	C	概ね良好だが、部分的に改善の余地あり
59～40点	D	成果・必要性に課題があり、改善が必要
39点～	E	効果・必要性が乏しく、廃止・統合も検討対象

(3) 委員会総合評価

総合得点	評価	評価内容
900～810点	A	個人総合評価と同様
809～675点	B	
674～540点	C	
539～360点	D	
359点～	E	

令和7年度瑞浪市総合計画推進委員会 事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
1. 人・未来を育むまちづくり	児童館管理運営経費(指定管理)	こども家庭課

1次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（人）	実績値（人）
B	年間利用者数	70,000	56,841

2次評価

委員会総合評価
B

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント	委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	B	達	B	瑞浪市内での18未満(2020年統計)6,306人1人@約9回利用した実績がある中で、今後の課題でもある中・高校生の利用促進対策として具体策を考慮する必要性があると思います。	－	B	達	B	コロナ禍以降利用者が増えているのは、4ヶ所それぞれの担当者が努力を重ねている成果が出ている結果だと思います。今後もおりべを含めたマスコミを利用し地元行事を取り上げてもらうよう働きかけを行い、利用者のみならず市民に関心を持ってもらうことは必要だと思います。
		効	B				効	B	
		必	B				必	B	
		明	B				明	B	
－	C	達	C	児童館は、放課後等に居場所がない子どもたちのために必要な施設であると思いますが、必ずしもすべての子どもが利用する必要はないと思います。市と指定管理者がしっかり連携して、利用する子どもたちにとって必要とされるプログラムを構築していくことが重要であると思います。 児童館へ行けばどんなことができるのかをしっかりとPRしてもらうなど、児童館の認知度を上げる方策も必要ではないでしょうか。	－	B	達	C	児童館の必要性は十分に認識しておりますが、人口減少や生活スタイルの変化により、利用者数の減少傾向は今後も続くと考えられます。 したがって、今後は対象人口に対する利用率など、より実態に即した指標への見直しが必要であると感じます。
		効	C				効	A	
		必	B				必	A	
		明	C				明	B	
－	B	達	B	児童館は、子どもたちの活動の場所であるとともに、安心して立ち寄れる居場所でもあります。 運営上、利用者数や稼働率はとても大切な目標ではありますが、実績数値には現れない子どもやご家族にとっての価値や意義をしっかりと社会に示していくことも重要であると考えます。	－	B	達	B	－
		効	B				効	B	
		必	A				必	B	
		明	B				明	B	
－	A	達	A	－	－	B	達	B	以前、主任児童委員をお引き受けした際、各児童館の努力を知り、よく活動してくださっています。 利用する市民との懇談会などを行い、事業を進められるといい。陶地区はとても達成感がある。
		効	A				効	B	
		必	A				必	B	
		明	A				明	B	
－	B	達	C	激しい少子化のなか目標値の設定方法の検討が必要と思われる。効率性の検討がしづらいが、利用者の実数からも他手段での代替も思案しづらいものと判断。 利用者の増加がみられることから一定のニーズが見られ、共働き世帯の増加等諸状況から今後のニーズも高いものと思われる。少子化対策等としても市民の理解は得やすいものと判断します。			達	C	
		効	B				効	B	
		必	A				必	A	
		明	B				明	B	

令和7年度瑞浪市総合計画推進委員会 事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
2. 魅力あふれるまちづくり	地場産品ブラッシュアップ事業	シティプロモーション課

1次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（件）	実績値（件）
A	当事業でブラッシュアップされた商品を選択された寄附件数	500	608

2次評価

委員会総合評価
B

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント	委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	D	達	A	私個人として事業途中での参加であり、詳細はわかりかねますが、事業目的として「市内産業の活性化…」とありますが、これは手段であって目的は「ふるさと納税額の増加」と思います。	－	A	達	A	ビームスジャパンに依頼しブラッシュアップを図ったわけですが、投入コストの割にはしっかり成果が出たのではないかと考えます。 ただ、これで終了ということですが、課題にもありますように単年で結果を出さないといけないという制約があり、スケジュールがタイトになり本来ならもう少し余裕をもってブラッシュアップできればさらに成果が出たのではないかとすると、もったいない気がします。
		効	D				効	A	
		必	D				必	A	
		明	D				明	A	
－	A	達	A	本事業を通して多くの地場産品の開発やブラッシュアップができたこと、ふるさと納税の寄附金が増加したことは評価できると思います。今回参画した事業者が新たな商品開発に取り組むきっかけとなってもらいたいと思います。 今後は民間事業者に頼らなくても、各事業者が自主的に商品開発に取り組むことを期待したいと思います。また、この取り組みによる成功例を紹介してもらい、今回参画しなかった事業者にも広がることを期待したいです。	－	A	達	A	寄附金の件数および金額が大幅に増加しており、高く評価できる。また、商品開発においても、参加事業者の経験値向上という効果が見られたと考えられる。 計画通りに終了したが、今後も地場産品を全国市場に売り出すための取り組みに期待したい。
		効	A				効	A	
		必	B				必	A	
		明	B				明	A	
－	B	達	B	ビームスジャパンの監修により地域の特産品が広く知られることで、瑞浪市の認知度の向上に貢献した事業であると考えます。 今回の成果が、後継となる取り組みに活かされることを期待します。また、シビックプライドの醸成にかかる成果についても検証されることも期待します。	－	A	達	A	スケジュールがタイトであったようですが、様々な商品開発ができて効果があったようでよかったと思います。
		効	A				効	B	
		必	B				必	A	
		明	B				明	A	
－	A	達	A	とても良い政策だと思います。瑞浪市は認知度がまだまだ低いと考えるが、こういった活動で瑞浪市について知る機会になったと思います。	－	A	達	A	地場産品の開発や催事販売等多くの種類をピックアップされてすばらしい。 今後は目玉商品を絞り込みアピールできると良い。 タイルは笠原が有名ですが、違った形で伸びてほしい。
		効	A				効	A	
		必	A				必	A	
		明	B				明	A	
－	B	達	A	事業目的の「市内産業の活性化並びにシビックプライドの醸成」度合を図る指標の選定が難しいのは理解できるが、寄附件数を指標とした点には違和感が残る。 一方で、事実として目標を大きく上回る成果を残しており、寄付金額も右肩上がりで推移していて投入コストを上回っていることから概ね効率的に実施され一定のニーズもあったものと思われるし、市民の理解も得られるものと判断します。			達		
		効	B				効		
		必	B				必		
		明	B				明		

令和7年度瑞浪市総合計画推進委員会 事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
2. 魅力あふれるまちづくり	市制70周年記念事業	企画政策課

1次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（人）	実績値（人）
A	参加応募者数	800	2,002

2次評価

委員会総合評価
A

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント	委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	A	達	A	周年記念事業のみで「完了」でなく是非継続企画してはいかがでしょうか？ 70周年企画、大変お疲れ様でした。	－	A	達	A	市制70周年ということで目標の2倍以上の参加応募者数であった。しかし、800名のうち691名の参加者であったというところに課題を感じる。理由はなかなかわからないと思うが、一割以下の不参加であれば良かったと思う。 イベントとしては大成功であったと言えるが、一時的なものにならないようにして欲しい。例えばポーノパークで作ったホットドッグの賞金付き早食い選手権を恒例化するとかどうでしょうか？
		効	A				効	A	
		必	A				必	A	
		明	A				明	A	
－	B	達	A	瑞浪ポーノパークをPRするためには有効なイベントであったと思われます。 これが一過性のものとならないように、本イベントで培ったノウハウを活かし、様々なプロジェクトに挑戦してもらい、瑞浪ポーノパークをはじめとした瑞浪市の魅力発信に努めてもらいたいと思います。	－	A	達	A	応募数が大幅に上回っており、高く評価できます。 周年事業にとどまらず、市民が気軽に参加できるプロジェクトがさらに増えることで、地域のつながり、まちへの愛着形成が一層深まることが期待されるのではないのでしょうか。
		効	B				効	A	
		必	B				必	B	
		明	B				明	B	
－	A	達	A	市制70周年記念として、市民が集まり団結して地域を盛り上げる事業は、とても有意義であり素晴らしい取り組みであると高く評価します。また、若手職員の方々が中心となり実施できたことは、今後を担う人材の育成にもつながる事業であったと考えます。 これからも若手職員のアイデアや企画が市民を巻き込みながら実行されることを期待します。	－	A	達	A	市外の方の参加が3割ということで、比較的市外の方も多く参加されたのはよかったと思います。
		効	A				効	B	
		必	B				必	B	
		明	A				明	A	
－	A	達	A	－	－	A	達	A	「ギネス世界記録」大成功。irodori-marketも参加しやすい。 きなあた瑞浪での肉販売、試食会とか増やして収益アップを狙うのはどうでしょう。
		効	A				効	A	
		必	A				必	A	
		明	A				明	A	
－	B	達	A	目標値を大きく上回る実績を残しており、ギネス認定による盛り上がり演出した一方で業務委託による省力化に努め概ね効率的な実施がされているものと判断します。周年事業による瑞浪市民としての意識向上・行政との一体感強化等ニーズはあるものと思われ継続の必要性もあると思います。 一層の市民参加への工夫は必要と思われるが事業への市民の理解は得やすいものと判断します。			達	A	
		効	B				効	B	
		必	B				必	B	
		明	B				明	B	

令和7年度瑞浪市総合計画推進委員会 事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
2. 魅力あふれるまちづくり	域学連携推進事業	シティプロモーション課

1次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（件）	実績値（件）
B	連携事業数	40	39

2次評価

委員会総合評価
B

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント	委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	A	達	B	若者の「産学官」参加での課題解決も一つの方法であり、又、若者の柔軟な考え方で、発明・発見が一つでもあれば成功として継続ください。	－	B	達	B	目標達成にはわずかと及ばなかったけれど、学生が気軽に市役所へ来て仕事をしていくというのは、間違いなくその学生にとって瑞浪市はナンバーワンであるはずで。将来的に瑞浪市の財産になると思います。 会議の時に質問できませんでしたが、過去の域学連携に関わってくれた高校生、大学生の進学先あるいは就職先は明示されているのでしょうか？
		効	B				効	B	
		必	A				必	A	
		明	A				明	B	
－	A	達	B	高校生や大学生が市政やまちづくりに関心を持ち、まちづくりに参画していることは評価できると思います。まちづくり団体の人員も高齢化していく中で若者がまちづくりに参画してもらえることは大変貴重であると思います。 学校を卒業後も、瑞浪市に関心を持ってもらい、継続的にまちづくりに参画してもらえるような方策を模索してもらいたいと思います。	－	A	達	B	交付金の利用を目的とするのではなく、協定を締結した学校の事業実施数を評価対象とする方が適切であると感じます。 若者の取り組みが地域の活性化に直結していることは明確であるため、これらの取り組みやその効果をよりわかりやすく発信することで、参加する事業者の増加にもつながることを期待します。
		効	A				効	B	
		必	A				必	A	
		明	B				明	A	
－	A	達	B	ミライ創ろまい課は、瑞浪市の独創的な取り組みであり、地域の高校生などが直に市の活動に関わり、かつ自身のアイデアと企画を実施できる未来を担う人材育成として、また世代間・地域間の交流を活発にする活動として高く評価できます。 今後は、ミライ創ろまい課を応援する市民が増え、ミライ創ろまい課を経験した若者が次の世代を支援する立場になるような循環した成果を期待します。	－	B	達	B	高校生らがまちづくりに参画することはとてもよいことだと思います。
		効	A				効	C	
		必	A				必	B	
		明	B				明	A	
－	A	達	A	本校の生徒も参加しておりますが、満足度は高いと考える。はじめは瑞浪市にそこまで興味がなくても、これをきっかけに興味を持ち始める生徒は多くいる。	－	A	達	A	SNSで「ミライ創ろまい課」の活動を知ることができます。 若い人達が頑張っているのは明るい未来を感じます。夕方の活動ならば（高、中）中心でも良いのではないかと。大は単独で活動してもらいたい。
		効	A				効	A	
		必	A				必	B	
		明	B				明	A	
－	B	達	B	概ね目標は達成しており、連携事業数に対しての投入コスト等から概ね効率的に実施されているものと思われます。 完了事案で客観的に評価できる事例があればなお良かったですが、若者を参画させることによる活性化や将来を見据えた事業でもあり、今後必要不可欠な事業と思われる、市民の理解も得られやすいものと判断します。			達		
		効	B				効		
		必	A				必		
		明	B				明		

令和7年度瑞浪市総合計画推進委員会 事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
2. 魅力あふれるまちづくり	お試し移住体験事業	シティプロモーション課

1次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（人）	実績値（人）
A	ふるさとワーキングホリデーの延べ参加人数	20	20

2次評価

委員会総合評価
B

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント	委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	A	達	A	特別交付税が有りとの事ですので、今後も広く募集し一人でも多く目的達成の為に継続して頂きたい。 更に将来の移住・定住の掘り起こしを考慮するなら対象を今度土岐に開校予定の外国語学校の生徒迄広げていくのも一考ではないでしょうか。	－	A	達	B	目標値に対してギリギリの達成ということなので、項目別的にはBとさせていただきます。是非継続していただきたい事業ですので、過去参加者へのフォローアップはもちろんですが、現在どういう状況で瑞浪市と関わっているのか明示してあげていただきたいと思います。 全国各地から参加できる状態になってましたか？
		効	A				効	A	
		必	A				必	A	
		明	A				明	B	
－	B	達	B	ワーキングホリデーに参加することはあくまできっかけであり、瑞浪市での滞在期間が終了したあとのフォローアップが重要であると思います。 今後も継続的に瑞浪市へ関わってもらえるような方策を模索してもらいたいと思います。また、滞在期間中に瑞浪市への関心を高めてもらうためには就業先や宿泊先等の理解と協力も重要であると思いますので十分な連携と支援をお願いします。	－	A	達	B	受け入れ人数を大幅に上回る応募があり、瑞浪市への関心を喚起する効果が高いと評価できます。 今後の課題としては、体験者がその後どのような形でつながりを持っているかを追跡し、その状況を市民に知らせることで、事業への共感をさらに広げることが重要であると考えられます。 翌年度以降3年間の具体的内容は5～6人を想定は毎年5～6人を増やしていくという意味でしょうか。
		効	B				効	A	
		必	B				必	B	
		明	C				明	A	
－	B	達	B	多くの若者が瑞浪市を訪れ、地域の仕事に従事しながら地域を知り愛着を持ってもらう仕組みづくりは、高く評価できます。 今後は、受入れの事業者数を増やししながら、受入れ人数の拡大に期待します。ふるさとワーキングホリデーに参加した若者との交流で、地域の若者が刺激されることも期待します。	－	B	達	A	結構な人数の方が瑞浪市でのワーキングホリデーに興味を持っていただいているようでうれしく思います。
		効	B				効	B	
		必	A				必	B	
		明	B				明	B	
－	B	達	A	－	B	達	B	ふるさとワーキングホリデーどんどん進めてほしい。 コスト面で大変だということで2週間となっていますが、せめて1ヶ月間。つながりも技術も得る事が可能となる。体験者と企業のフォローが大切。	
		効	C			効	B		
		必	B			必	A		
		明	B			明	C		
－	B	達	B	目標値は達成しており、限られた財源のなかで対象者を選定してのものでもあり概ね効率的に実施されていると思われる。地方ではどの自治体も人口減少に直面していることから、ニーズはあり継続の必要性も伺える。 当該事業からの移住・定住者ができればなお良いですが、関係人口の拡大も期待でき市民の理解も得やすいと判断します。			達		
		効	B						
		必	B						
		明	B						

令和7年度瑞浪市総合計画推進委員会 事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
3. 生涯活躍のまちづくり	小児インフルエンザ予防接種費用助成事業	健康づくり課

1次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（％）	実績値（％）
B	小児インフルエンザ接種率	30.0	26.6

2次評価

委員会総合評価
B

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント	委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	A	達	B	新型コロナウイルス以降接種率は減少傾向しているものの特に小児対象には必要を感じますので引き続き継続を望みます。	－	B	達	B	事業の性質上、現状で継続という形になると思いますが、対象者枠の拡大やインフルエンザ予防接種の安全性をPRしていただくいいのではないのでしょうか？ もし不都合があるとすれば、予防接種の必要性をPRしていただく頻度や広告の工夫など検討していただいてはどうでしょうか？
		効	B				効	B	
		必	A				必	A	
		明	A				明	B	
－	C	達	C	小児インフルエンザ予防接種は任意接種ではありますが、市民が接種の必要性を判断するためには、予防接種の有効性やリスクなどの判断材料を示す必要があるのではないのでしょうか。 制度として今後も継続していくのであれば、予防接種の有効性や必要性はしっかり示していく必要があると思われます。	－	C	達	D	事業としては必要不可欠だと思いますが、告知は広報やHPのみで、例年との比較や接種率アップに向けた改善点が不明です。 予約開始時期にあわせ、幼保・小中学校のお知らせや保健だよりなど、各家庭に届く具体的な告知方法も検討してみてもどうでしょう。
		効	C				効	C	
		必	C				必	A	
		明	C				明	B	
－	B	達	B	小児インフルエンザ予防接種の助成は、様々な経済状況にある家庭において、子どもたちの健康のためにも重要な事業であると考えます。 一方で、ワクチン接種が任意であることから（全員の接種を目標として掲げることができない）、行政が担う役割と経済支援の観点から事業の目標設定や位置づけを改めて議論することも必要であると考えます。	－	B	達	B	予算の問題はあると思いますが、金銭的負担のためにワクチン接種を控える家庭もそれなりにあるのではないかと思います。2回接種が必要で、2人子供がいると1万円ほどになりますので。 ワクチン接種を進めたいということでしたら、金銭的なハードルを低くすることが必要かと思っています。
		効	B				効	C	
		必	B				必	B	
		明	B				明	B	
－	C	達	B	ワクチン接種に対する多様化が進む中、打たないという選択肢を取る市民も増加していると考え。そのため、小児ワクチンについて、もう少し具体的に、打てばこのような効果があるなどの説明が必要であると考え。	－	A	達	A	ワクチンに関しては個人差もあり、任意ということでバックアップ体制はとても良い。
		効	B				効	A	
		必	D				必	A	
		明	C				明	A	
－	B	達	C	目標値は下回ったものの、重症化予防の観点で必要性はあり、予約がしづらいとの声もない様子で事業の進め方等概ね無難な内容と思われます。事業内容から市民の理解も得やすいものと判断します。			達		
		効	B				効		
		必	B				必		
		明	B				明		

令和7年度瑞浪市総合計画推進委員会 事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
4. 活みなぎるまちづくり	農産物等直売所管理経費(指定管理)	農林課

1次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（人）	実績値（人）
A	年間来場者数	480,000	497,002

2次評価

委員会総合評価
B

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント	委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	A	達	A	駐車場の変更、子供の遊び場の新設等の発想、又、夜間営業を行いアルコール提供など意見はありますが、今後一つ一つ改善されてより良い農産物直売所にしていくことが大切だと思いますので現状継続して頂きたいです。	－	A	達	A	5年度よりも実績が増え、目標値を大きく上回ったと言える。しかし、新商品開発についてはインパクトのある物を、それこそ民間に委託して開発することを考えてみてはどうか？
		効	A				効	A	
		必	A				必	A	
		明	A				明	A	
－	C	達	B	国道19号からも近く、立地条件にも優れており、市の賑わいの拠点となる施設だと思われます。農産物に限らず瑞浪市内の物産を販売、PRできるような施設としての活用が必要ではないでしょうか。 施設の管理、運営については指定管理者に任せきりにならないように行政として適切に管理、指導をお願いします。また、積極的なイベント実施により人を呼び込む工夫をお願いします。	－	A	達	A	来場者数に加えて販売額も増加しており、高く評価できると考えられます。 今後は、他の施設との差別化や計画的な情報発信などによるブランディングをさらに進めることで、さらなる成長の可能性が大いにあると感じます。
		効	B				効	B	
		必	C				必	A	
		明	C				明	B	
－	B	達	B	きなあつ瑞浪は、地域内外からの認識も定着しつつある直売所であり、多くの人たちが訪れる瑞浪市の重要な拠点であることから、今後さらに発展するためにも市民や消費者のニーズも適切に把握しながら新しい取り組みに挑戦していただくこと期待します。	－	B	達	A	午後になると商品が少なくなってしまうと感じています。また、他地域の商品も販売されていますが、どこでも手に入る野菜ではなく、他ではなかなか見かけない果物やお菓子など珍しい物を販売してほしいと思います。
		効	A				効	B	
		必	B				必	B	
		明	B				明	B	
－	B	達	A	－	－	C	達	C	・農園→毎週イベントができると良い。 ・ハム工房→ブランド化されていて独自性があり良い。 ・BBQ広場→もっともっと人が集まると良いが…。駐車場や川原の使い方を考えていきたい。
		効	A				効	C	
		必	B				必	C	
		明	C				明	A	
－	B	達	B	目標値は達成しており、来場者数・販売額も前年比で拡大していることから事業の進め方も無難なものと思われ、地域農業の振興及び一層の観光拠点化の観点で継続の必要性もあるものと思われ。ポークの一層のブランド化への取り組みは期待されますが、市民の理解は得やすいものと判断します。			達	B	
		効	B				効	B	
		必	B				必	B	
		明	B				明	B	

令和7年度瑞浪市総合計画推進委員会 事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
4. 活みなぎるまちづくり	観光コンテンツ造成事業	商工観光課

1次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（人）	実績値（人）
A	OTAを通した体験者数	1,500	1,557

2次評価

委員会総合評価
B

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント	委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	A	達	A	目標値に対する実績について103.8%。他地域との比較されると更に見える化に なると思います。大変ご苦労様でした。	－	A	達	A	事業としての達成はしているが、割引クーポン対象期間が大部分を占めており、平 常時の誘客に課題がある。動画も完成度は高く評価できるが、認知度はまだ低い。 他のSNSへの投稿も検討していただきたいと思います。
		効	B				効	A	
		必	A				必	A	
		明	B				明	A	
－	B	達	B	観光コンテンツを作ることが目的ではなく、紹介した施設等を訪れてもらえるようにす ることが重要であると思います。今後は今回造成した各コンテンツを有効活用する方 策を検討してもらいたいと思います。各コンテンツでは点として紹介されているものを線 としてPRしていくことも重要となってくると思います。 瑞浪市へ来たことがない人がグルメや名所を組み合わせで1日瑞浪市を満喫でき るルートの提案してもらいたいと思います。瑞浪市観光が単発のものになってしまう ないように、再度訪れてもらえるような工夫も必要だと思ひます。	－	A	達	B	令和5年度と比較すると利用人数はやや減少傾向にありますが、目標は達成して おり、認知度の向上も確認できました。 今後は、この効果が一過性にとどまらず、平常時においても「瑞浪に訪れてみたい」 「再訪したい」と感じていただけるような継続的な施策の実施を期待したいです。
		効	B				効	A	
		必	B				必	B	
		明	B				明	A	
－	A	達	B	多くの事業者を巻き込みながら体験型の観光コンテンツを展開し、様々な媒体を 活用した情報発信の成果として、多くの人たちが訪れたことは高く評価できます。 今回の事業成果を活かして、観光協会との連携のもと後継となる事業において、イ ンバウンド対応も含めた体験型の観光プログラムの充実と、事業目的にもある観光 消費額の増加につながることを期待します。	－	A	達	A	－
		効	A				効	B	
		必	B				必	B	
		明	A				明	A	
－	B	達	A	－	－	C	達	C	・9/28美濃歌舞伎「相生座」の公演を観てきました。初めての体験でとても感激しま した。こんなにすばらしい文化をもっともっと広めていってほしい。 ・いろんな所に出かけてもらうのではなく気に入った場所に何回も足を運んでもらえると 良い。
		効	B				効	B	
		必	A				必	B	
		明	C				明	C	
－	B	達	B	概ね目標値は達成しており、費用対効果の問題はあるが観光消費額も増加がみ られており一定のニーズはあるものと思われる。 地域活性化には観光業強化は必要であり市民の理解も得やすいものと判断しま す。			達	B	
		効	B				効	B	
		必	B				必	B	
		明	B				明	B	

令和7年度瑞浪市総合計画推進委員会 事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
4. 活みなぎるまちづくり	東濃圏広域観光PR事業	商工観光課

1次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（人）	実績値（人）
A	年間観光入込客数	1,200,000	1,210,521

2次評価

委員会総合評価
B

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント	委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	B	達	A	リニア開通は絶好のチャンスと捉えて、今後も継続して色々なイベントを通してPRして行くべき事業と思います。（開通に向けて）	－	A	達	A	東美濃地域の中での瑞浪市が置かれている状況からすれば、目標をクリアできているのは高く評価できるのではないだろうか。まだ『東美濃』という呼び名が浸透していない中で瑞浪市としての独自性を出していくには、思い切った策が必要だと思います。観光大使の有効活用、福井県（杉本知事は中津川市出身）との化石繋がりで協力関係を築いて利用する。
		効	B				効	A	
		必	B				必	A	
		明	B				明	A	
－	B	達	B	リニア開通を絶好の好機と捉え、東濃地域が一体となって地域をPRしていくことは重要であると思います。 ただ、広域での取り組みであるため、瑞浪市の独自性を出すことが難しい面もあると思いますが、広域の中で瑞浪市の魅力が埋もれてしまわないようにしっかり瑞浪市をPRしてもらいたいと思います。	－	A	達	B	目標数値は達成しているものの、来訪者が観光目的で訪れたのか、単なるカウントなのかの区別が不明確であり、「東美濃」としての広域観光事業の効果が十分に見えにくいと感じました。
		効	B				効	B	
		必	B				必	A	
		明	C				明	A	
－	B	達	B	東濃5市・可児市・御嵩町が連携して共同で観光の活性化を目指す実施体制の整備と取り組みは、将来の広域連携に観点からも重要であると考えます。 今後は、共通の特産品だけではなく、それぞれの地域の特徴や強みを活かしながら、県外から東濃や可児市、御嵩町を訪れ周遊してもらえる仕組みづくりに期待します。	－	A	達	A	－
		効	B				効	B	
		必	B				必	A	
		明	C				明	B	
－	B	達	A	－	－	B	達	B	他市に比べて、観光資源は少ないが、ゴルフや自然をもっとアピールして、不動の地位を目指す事も出来るのではないのでしょうか。
		効	A				効	B	
		必	B				必	B	
		明	C				明	B	
－	B	達	B	概ね目標値は達成しており、観光客の取り込みには周辺自治体との連携が必要と思われるなか、6市1町で連携したPRを実施していて効率性も評価できる。 入込客数も増加傾向で一定のニーズはあるものと思われ、地域活性化には観光業強化は必要であり市民の理解も得やすいものと判断します。			達	B	
		効	B				効	B	
		必	B				必	B	
		明	B				明	B	

令和7年度瑞浪市総合計画推進委員会 事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
５．持続可能なまちづくり	広域バス路線運行維持補助事業	商工観光課

1 次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（人）	実績値（人）
B	明智路線年間利用者数	70,000	59,148

2 次評価

委員会総合評価

C

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント	委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	B	達	B	実績が目標値には達していないが(84.5%)令和5年⇒令和6年は増加しており、陶方面デマンド交通との併走により利用促進を継続して図っていく。	－	B	達	B	実績としては達成しなかったものの、コロナ禍以降減少した利用者数が回復傾向を示していることは一定の効果・成果があったとみなしてよいと思います。
		効	B				効	B	
		必	B				必	B	
		明	C				明	B	
－	C	達	C	陶地区に限らず郊外地域の交通手段の確保は重要な課題であると思います。しかしながら、赤字額が増大すれば市の財政に与える影響も大きくなると考えられますので、補填額に見合う代替手段の検討も必要ではないでしょうか。	－	C	達	C	利用者の減少により運行の維持管理が年々難しくなっている状況がうかがえます。今後の運行体制やサービスの在り方について、早急に代替手段や新たな運行形態の検討を進めることが望まれます。
		効	C				効	D	
		必	B				必	A	
		明	C				明	B	
－	B	達	B	公共交通は、地域の高齢者の移動手段としてだけでなく、通勤や通学、通院といった多くの人たちにとっても重要であり、地域の安心・安全のための地域の基盤ですので、継続して運行するためにも地域のニーズや利用状況といった客観的な調査データにもとづき、市民や当該地域の方々の理解が得られるような取り組みを期待します。	－	B	達	B	－
		効	B				効	B	
		必	A				必	B	
		明	B				明	A	
－	C	達	C	普段使用しないため、分からないことも多いが、使用する人がいる以上、なくなれば困る人がいることは確かである。	－	C	達	B	陶地区の方々の意見をもっと知らなければ、判断に迷いが出ました。
		効	C				効	B	
		必	B				必	C	
		明	C				明	C	
－	B	達	C	事業目的が、「陶地区の交通手段の確保・維持」と設定されている中、目標指標の設定に違和感がある。目標値は未達となっているが一定数の利用客数があることから、ニーズがあることは疑いなく、運営は東濃鉄道が行っていて市の実際のコストは低いものと思われ効率性は伺える。交通手段の確保という点で市民の理解も得やすいものと判断します。					
		効	B						
		必	B						
		明	B						

令和7年度瑞浪市総合計画推進委員会 事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
5. 持続可能なまちづくり	防犯活動推進経費	危機管理課

1次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（回）	実績値（回）
B	青色回転灯防犯パトロール実施回数	360	293

2次評価

委員会総合評価
B

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント	委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	B	達	B	目標値が1日/1回ペースでは無理があるのでは？繁華等、地区を絞った巡回方法へと効率性を考慮した活動に変更するのー考ではないか、と思います。	－	B	達	B	関係者の皆さんの日頃の努力に頭が下がりますが、やはり完全ボランティアというのには限界があり、そもそも一般財源からの686,000円という予算は少ないと思います。この防犯活動を維持していこうと思えば自治会の比較的若い世代が関心を示してくれるようなイベントの開催、また従事者への表彰・報労等検討する必要があると思います。
		効	C				効	B	
		必	A				必	B	
		明	B				明	B	
－	C	達	C	市民の防犯意識の向上や犯罪のないまちを作ることが重要であると思います。パトロール従事者の高齢化も進んでおり、限られた人員でパトロールの実施回数を目標とすることは実施団体への負荷にもなりかねず、活動自体が立ちゆかなくなる可能性が危惧されます。活動団体の自主性に任せるだけでなく、限られた人員で有効な手法を行政が提示する必要があると思われます。市民の防犯に対する意識を醸成させるため、団体や警察などと協力した活動も必要ではないでしょうか。市民の防犯意識が向上すれば、防犯活動へ参加する市民も増えるのではないのでしょうか。	－	C	達	C	パトロールの実施回数は年々増加しており、活動自体は改善が図られていると感じます。しかし、ボランティアへの依頼による市民負担が懸念されるほか、今後も従事者の増加が見込めない状況を踏まえると、パトロール活動の実施状況と防犯効果の測定を行い、その結果をもとに活動の方向性を見直すことも検討すべきではないかと考えます。
		効	C				効	C	
		必	B				必	C	
		明	C				明	C	
－	B	達	B	青色防犯パトロール活動は、子どもたちをはじめとした地域の安心と安全のための重要な取り組みであります。パトロールにあたり、実施回数だけではなく、必要な時間帯や地域のニーズも踏まえた効果的で効率的な取り組みを期待します。警察との連携のもと、青色防犯パトロールの回数と地域の犯罪件数の相関から見られる効果を検証することも、若い世代を巻き込みながら継続するためにも重要であると考えます。	－	B	達	B	－
		効	C				効	B	
		必	B				必	C	
		明	B				明	A	
－	A	達	B	－	－	C	達	B	防犯パトロール活動はとても大切な活動です。講習会は子供、老人共に受講したい。
		効	A				効	C	
		必	A				必	B	
		明	B				明	C	
－	B	達	C	事業目的が「市民、特に子どもや高齢者に対する防犯対策の強化」であり、設定された目標指標に違和感があり、パトロール従事者の確保が難しくなるなか効率性と合わせて見直しの検討の余地があるものと思われる。諸犯罪の状況や人口減少・近所関係の希薄化等を考慮すれば高い市民ニーズがあるものと思われ、評価も高いものと判断します。			達		
		効	C				効		
		必	A				必		
		明	A				明		